

安全大会

知識とコンプラ イアンスを基に

東海地区コン クリ庄送組合

東海地区コンクリート庄送有限責任事業組合(長谷川員典理事長)は12日、名古屋市内で第9回安全大会を開き、参加した組合企業の関係者ら368人が現場などにおける無事故無災害を祈念した。

長谷川理事長「写真」は冒頭、「建設キャリアアップシステム」などの講習を進

め、皆さんの生活の安定に貢献できるように努めている」とした上で、「コンクリートの専門家として正しい知識とコンプライアンスを基に、安全を確保して作業に取り組んでほしい」とあいさつ。

来賓の建設産業専門団体連合会の才賀清二郎会長は、「基幹技能者は今後、主任技術者と同等の資格となる。それらの資格の取得



のため、富士教育訓練センターを利用してほしい」と祝辞を述べた。

大会では富士火災海上保険の大村健二氏による安全に関する講話や、2016年度基幹技能者取得者の9人を表彰した。

当日は全庄連統一安全技術講習会として、日本大学理工学部建築学科の中田善久教授が「コンクリートの庄送性におよぼす調査要因と庄送計画の基本事項」をテーマに、また同組合安全技术委員長の内井次郎氏が講習を行った。さらに、安藤ハザマ名古屋支店の村井徹夫副部長が足場の組み立てなどについて講演した。